

## 3. 印字開始位置（先頭行）の調整

### 3. 1 単票用紙

- 1) 用紙タイプ・レバーを上方に押し上げて単票用紙モードにします。
- 2) 単票用紙を挿入します。用紙が自動的に印字開始位置まで送られ、印刷可能状態になります。
- 3) **印刷**スイッチを押して印刷不可状態にします。
- 4) ファンクション・カバーを開けた後、**微調↑**スイッチまたは**微調↓**スイッチを押して、希望の印字開始位置に調整します。

注意) 調整範囲は、-25.4 mm (- 1 in.) ~ +279.4 mm (+ 11 in.)の範囲内です。

- 5) **Alt**スイッチを押した後、**位置決め**スイッチを押します。  
“ビー”というブザー音が鳴り、現在の位置が、先頭行として記憶されます。この位置は、電源スイッチをOff (O) した後も保持されます。

注意) 1. **Alt**スイッチを押し、**Alt**ランプが点灯中に**位置決め**スイッチを押して下さい。

**Alt**ランプは1秒程で自動的に消灯します。

2. **位置決め**スイッチを押す前に用紙送りノブで用紙の位置を調整すると、正しい位置が記憶できないので、注意してください。
3. 用紙がプリンターにない状態で5) の操作を行なうと、印字開始位置は工場出荷時の値（用紙先端から約6.4mm）にセットされます。

### 3. 2 連続用紙

- 1) 用紙タイプ・レバーを下方に押し下げて連続用紙モードにします。
- 2) 連続用紙をセットします。
- 3) **パーク/ロード** スイッチを押します。用紙が印字開始位置まで送られます。
- 4) ファンクション・カバーを開けた後、**微調↑** スイッチまたは**微調↓** スイッチを押して、希望の印字開始位置に調整します。

注意) 調整範囲は、-25.4 mm (- 1 in.) ~ +279.4 mm (+ 11 in.)の範囲内です。

- 5) **Alt** スイッチを押した後、**位置決め** スイッチを押します。“ビー”というブザー音が鳴り、現在の位置が、先頭行として記憶されます。この位置は、電源スイッチを Off (O) した後も保持されます。

注意) 1. **Alt** スイッチを押し、**Alt** ランプが点灯中に**位置決め** スイッチを押して下さい。

**Alt** ランプは1秒程で自動的に消灯します。

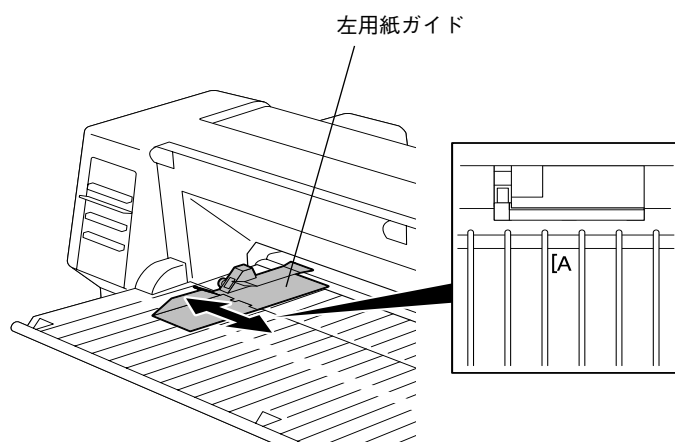
2. **位置決め** スイッチを押す前に用紙送りノブで用紙の位置を調整すると、正しい位置が記憶できないので、注意してください。
3. 用紙がプリンターにない状態で5) の操作を行なうと、印字開始位置は工場出荷時の値(用紙先端から約6.4mm)にセットされます。

## 4. 左マージンの調整

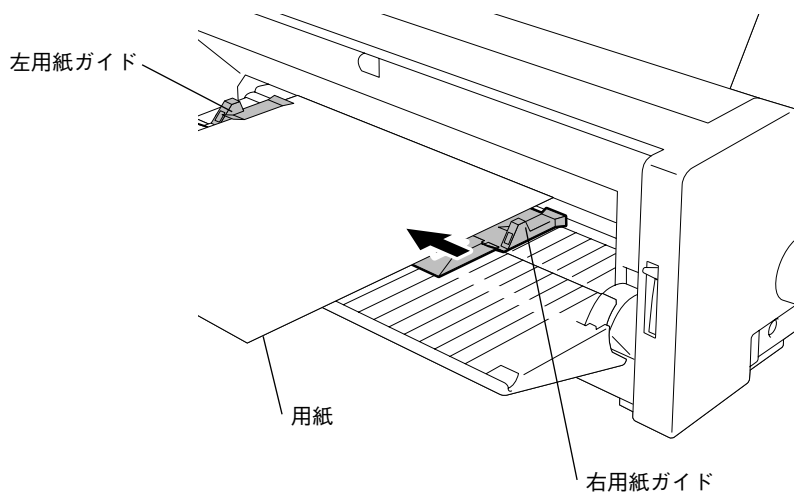
ここでは、左マージンの調整方法について説明します。単票用紙挿入ガイドの左側およびトラクター・ユニットの左下にある[Aの記号が印字開始位置の目安です。

### 4. 1 単票用紙

- 1) 単票用紙挿入ガイドの上に用紙を置いて、左用紙ガイドに用紙の左端を合わせます。
- 2) [Aの印を印字開始位置の目安にして、左用紙ガイドを左右に移動し、左マージンを調整します。

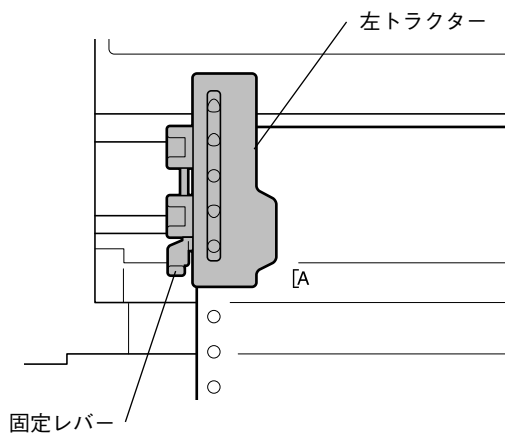


- 3) 左マージンが決定した後、右用紙ガイドを用紙の右端に合わせます。



## 4. 2 連続用紙

- 1) 用紙を左右のトラクターにセットします。
- 2) [A]の印を印字開始位置の目安にして、左トラクターを左右に移動し、左マージンを調整します。
- 3) 左マージンが決定した後、左トラクターの固定レバーを押し下げてトラクターをロックします。



- 4) 用紙がたるまないように右トラクターを移動し、固定レバーを押し下げて右トラクターをロックします。

注意) 右トラクターでは用紙のたるみがとれない場合は、左トラクターで調節してください。また、トラクターを引いて用紙を張りすぎると、印刷時に用紙が破れることがあるので、注意してください。

## 5. 用紙厚調整

最良の印字品質を得るためには、用紙の厚みに応じて印字ヘッドとプラテンの間の距離（GAP）を調整する必要があります。

用紙厚の調整には、以下の2つのモードがあります。

### 5. 1 用紙厚自動調整モード

自動調整モードでは、使用する用紙の厚さに応じてプリンターが自動的に印字ヘッドとプラテン間の距離を調整します。通常はこのモードで使用してください。

### 5. 2 用紙厚固定モード

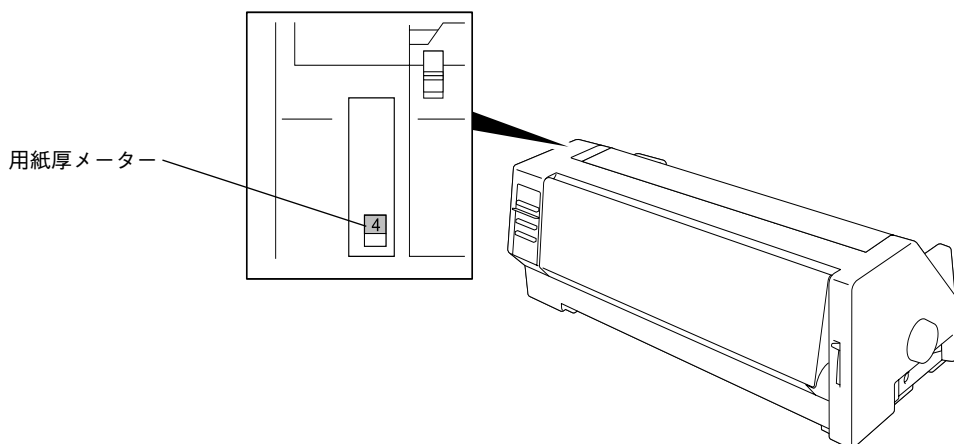
用紙厚固定モードでは、操作パネルからの入力によって希望の値に用紙厚を固定します。（主にラベル紙、封筒など部分的に紙の厚みが異なるときに使用します。）

- 1) **印刷**スイッチを押して印刷不可状態にします。
- 2) ファンクション・カバーを開けて下さい。**Alt**スイッチを押した後、**紙厚固定**スイッチを押します。紙厚固定ランプが点灯し、用紙厚自動調整モードから用紙厚固定モードに切り換ります。

注意) 紙厚固定ランプが点灯している状態が用紙厚固定モードです。

- 3) ファンクション・カバーを閉じて下さい。**Alt**スイッチを押した後、LEDが点灯している間に**紙厚設定(大)**スイッチまたは**紙厚設定(小)**スイッチを押して用紙の厚みに応じて、用紙厚メーターの数値を合わせてください。
- 4) 印刷スイッチを押して、印刷可能状態にします。

注意) 用紙厚自動調整モードに戻すには、1) , 2) と同じ手順を行ってください。



調整範囲を以下に示します。

用紙枚数	用紙の厚み	用紙の連量 (kg)	厚さ (mm)	用紙厚メーターの位置
オリジナルのみ	薄い	45 - 55	0.07 - 0.08	1
	普通	55 - 77	0.08 - 0.10	1 - 2
	厚い	77 - 110	0.10 - 0.16	2
オリジナル+1		34 / 34	0.12	2 - 3
オリジナル+2		34 / 34 / 34	0.18	2 - 4
オリジナル+3		34 / 34 / 34 / 34	0.24	3 - 4
オリジナル+4		34 / 34 / 34 / 34 / 34	0.30	3 - 5
オリジナル+5		34 / 34 / 34 / 34 / 34 / 34	0.36	4 - 6
ハガキ		110	0.16	3
予備				7 - 8

- 注意) 1. 用紙の連量とは、用紙の厚さの単位であり、四六判 (788 mm × 1091 mm) の用紙 1000 枚の重量を示しています。(単位: kg)
2. オリジナルのみの用紙の場合、単票用紙では 45 kg から、連続用紙では 50 kg から使用できます。
3. 用紙厚メーターの設定値が上記の最適値より大きい場合は、印字のかすれを生じ、印字ヘッドおよびリボンの寿命を短くしますので、注意してください。
4. 自動給紙機構からの自動給紙は、オリジナル+4 枚までです。

## 6. ティア・オフ機能

本プリンターは、連続用紙の無駄を防ぐために、印刷が終了したときに用紙をミシン目カッターまで送り、ミシン目切り取り後、用紙を再び印字開始位置まで戻すことができます。この機能をティア・オフ機能といいます。

この機能は、印刷終了後、自動的に働くモードと、操作パネルの「先頭／排出」スイッチを押すことにより働くモードの、どちらかを選択できます。「第4章. 初期値設定」4-3ページを参照してください。

### 6. 1 ミシン目切り取り位置の調整

ティア・オフ機能の実行時に、連続用紙のミシン目がミシン目カッターに合わない場合は、以下の手順によりミシン目切り取り位置の調整を行ってください。

注意) ミシン目切り取り位置の調整を行う前に、初期値設定またはページ長の設定コマンドにより、ページ長を使用する用紙に合わせてください。

- 1) 連続用紙をセットします。  
「2. 連続用紙のセット」3-10ページを参照してください。
- 2) 「印刷」スイッチを押して印刷不可状態にします。
- 3) 「改ページ」スイッチを押して、用紙を1ページ送ります。
- 4) 「先頭／排出」スイッチを押して、用紙をミシン目切り取り位置に送ります。

注意) 初期値設定の自動ティア・オフを設定にしてある場合、用紙は自動的にミシン目切り取り位置まで送られるので、「先頭／排出」スイッチを押さないでください。

- 5) ファンクション・カバーを開けた後、「微調↑」スイッチまたは「微調↓」スイッチを押して、希望のミシン目切り取り位置に調整します。

注意) 調整範囲は、± 25.4 mm (± 1 in.) の範囲内です。

- 6) 「Alt」スイッチを押した後、「位置決め」スイッチを押します。現在の位置が、ミシン目切り取り位置として記憶されます。この位置は、電源スイッチを Off (○) した後も保持されます。

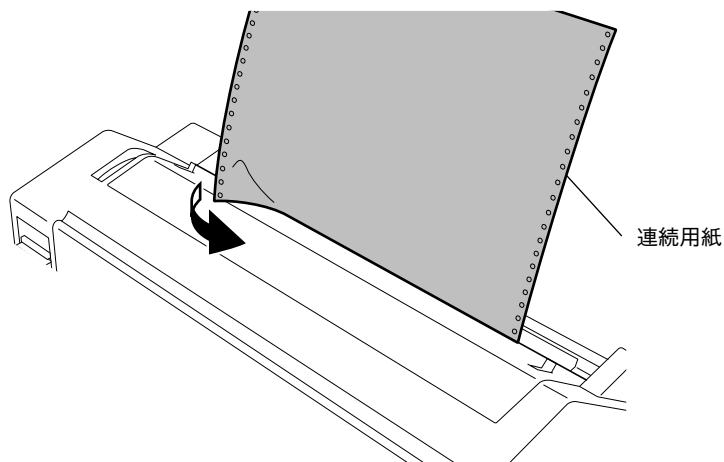
注意) 「位置決め」スイッチを押す前に用紙送りノブで用紙の位置を調整すると、正しい位置が記憶できないので、注意してください。

- 7) ファンクション・カバーを閉じて、「先頭／排出」スイッチを押します。

## 6. 2 ミシン目切り取り

(1) 初期値設定の自動ティア・オフを解除にしてある場合

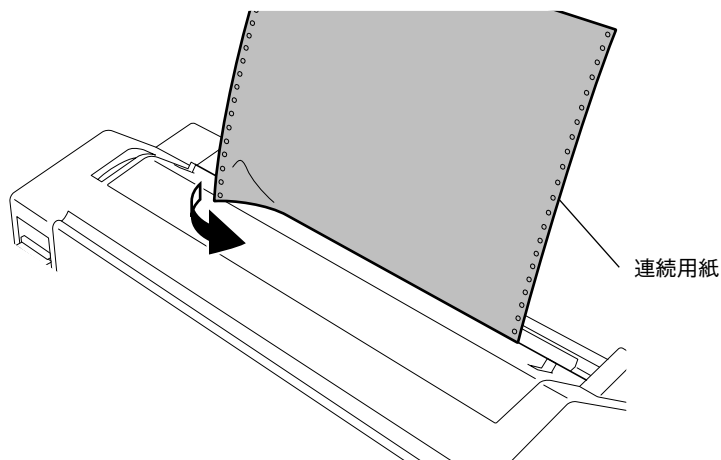
- 1) 印刷終了後、**先頭／排出**スイッチを押して、用紙をミシン目切り取り位置まで送ります。
- 2) ミシン目カッターにより、用紙をミシン目から切り取ります。



- 3) **先頭／排出**スイッチを押して、用紙を印字開始位置まで戻します。

(2) 初期値設定の自動ティア・オフを設定にしてある場合

- 1) 印刷終了後、次の印刷データが1秒以上送られてこない場合、用紙が自動的にミシン目切り取り位置まで送られます。
- 2) ミシン目カッターにより、用紙をミシン目から切り取ります。



- 3) 次の印刷データが送られてくると、用紙が自動的に印字開始位置まで戻り、次の印刷を開始します。



## 7. ペーパー・パーク機能

本プリンターは、連続用紙をトラクターから外すことなく、単票用紙を使用することができます。この機能をペーパー・パーク機能といいます。

- 1) プリンター上部の連続用紙をミシン目から切り取ります。ミシン目切り取りの方法については、「6. ティア・オフ機能」3-21 ページを参照してください。
- 2) **パーク/ロード**スイッチを押します。連続用紙がトラクター位置まで戻されて、用紙点検ランプが点灯します。
- 3) 連続用紙がトラクター位置にある状態で、単票用紙をセットします。「1. 単票用紙のセット」3-1 ページを参照してください。
- 4) 単票用紙の印刷が終了し、用紙が排出された後、用紙スタンドおよび用紙サブ・スタンドを元の位置に収納します。
- 5) 用紙タイプ・レバーを下方に押し下げて連続用紙モードにします。
- 6) **パーク/ロード**スイッチを押します。連続用紙がトラクターの位置から印字開始位置まで送られて、用紙点検ランプが消灯します。
- 7) **印刷**スイッチを押して印刷可能状態にします。



用紙のセット